

代 表 者

行 政 視 察 及 び 陳 情 報 告 書

令和 2 年 2 月 5 日

会 派 代 表 者 様

呉市議会議員

神田 隆彦 印

谷 惠介 印

石崎 元成 印

林田 浩秋 印

梶山 政孝 印

次のとおり行政視察及び陳情活動したので報告します。

1. 視察期日

令和 2 年 1 月 2 1 日（火）， 2 2 日（水）， 2 3 日（木）

2. 調査項目及び陳情項目

埼玉県春日部市：シティセールス戦略プランについて
特別交付税要望活動

3. 参加議員：神田隆彦，谷惠介，石崎元成，林田浩秋，梶山政孝

埼玉県春日部市

■調査項目

シティセールス戦略プランについて

・調査対応者

春日部市総合政策部シティセールス広報課 浜島孝宏 課長

春日部市総合政策部シティセールス広報課

シティセールス推進担当 荻原康司 主幹

春日部市総合政策部シティセールス広報課

シティセールス推進担当 小川裕司 主査

春日部市議会事務局 白子高史 局長

・調査期日

令和2年1月21日（水）午後2時30分～午後4時30分

・春日部市の概要

人口：234,137人

世帯数：106,924世帯

備考：クレヨンしんちゃんを活用した施策の展開

・調査目的

「人々や事業者から選ばれるまちの実現」や「人口減少に的確に対応し将来にわたって活力あるまちを維持していくため」にシティセールス戦略プランを策定しシティセールスに取り組んでいる状況を調査するため。

・調査内容

【春日部市からの説明】

本市は、春日部市総合振興計画後期基本計画を策定し、その方策の一つとしてのシティセールスを推進するため、平成25年度シティセールス広報課を設置してから、平成26年度にシティセールス戦略プランを策定し、平成27年度から29年度にかけてシティセールス活動を実施しました。この活動は、主に市内向けに春日部市の魅力を多くの人に売り込む取り組みでありました。第1次戦略プランとして8つのカテゴリーを策定し、機運を盛り上げることに努めました。

次に、平成29年度には、第2次シティセールス戦略プランを策定し、市外向けのプロモーションを実施しました。この活動は、ターゲットエリアとターゲット像を設定し、インターネット上でのアンケート調査を行いました。その後、マスコミ等に取り上げてもらうためにクレヨンしんちゃんを全面に出し「都心への

アクセスの良さ」「地価の割安さ」「子育て環境の良さ」を、各種媒体を活用し、春日部市の魅力を売込むことに努めました。

春日部市の認知度は少し上がった程度とのことでしたが、この活動自体は市内外から高評価をいただき、特に、子育て世代からは高い数値をいただいたとのことでした。

【質疑応答】

問 本市の魅力を市民に知ってもらう取り組みは困難であると思いますが、どのように取り組まれたのですか。

答 市内の中学校へ出向き、中学生に春日部市を知ってもらう活動や各種団体の会合等に出向き、小さなことでも、どんなことでも、市民が好きなところを幅広く調査し、まちの魅力を知ってもらう取り組みを行いました。

問 第1次シティセールス戦略プランを策定したときに8つのカテゴリーを競ってされていますが、どのように絞り込んだのですか。

答 あらかじめターゲットを子育て世代に絞り、若い世代に春日部市の魅力を知っていただくために、その関係のカテゴリーにしました。

問 第2次シティセールス戦略プランでは、どのようにしてエリアを設定されましたか。

答 都内の区と春日部市と都心との距離が同じ千葉県と神奈川県のまちにしました。

問 広報活動の経費はいくらぐらいかかりましたか。

答 細かく計算していませんが、概ね1,500万円です。

問 クレヨンしんちゃんの著作権は？

答 広報活動の経費に含まれています。

【呉市での展開の可能性】

春日部市の職員の方から言われたことは、私たちのまちにはクレヨンしんちゃんという大きなコンテンツはあるがそれを活用できる資源に乏しく、呉市には大和ミュージアムや牡蠣など瀬戸内海の資源がたくさんあるのでうらやましい、と言われました。大変ショックでした。私たち呉市民は、甘えているのではないのかと思いました。自分たちでまちを作ろうとする意識が希薄ではないのかと強く感じました。（職員も含む）

まずは、意識の変革に努める活動をすることだと思います。

特別交付税の増額配分要望

・陳情時間 1月22日(水) 13:00～17:30

・陳情先

地元選出国會議員

寺田稔衆議院議員，哇元将吾衆議院議員，齋藤鉄夫衆議院議員

宮澤洋一参議院議員，柳田稔参議院議員，森本真治参議院議員

財務省：麻生太郎財務大臣をはじめ，8人

総務省：高市早苗総務大臣をはじめ，13人

・陳情内容

平成30年7月豪雨災害によって，市内各所で道路や河川等のインフラ施設や，小中学校等の公共施設のほか，住家や事業所などに甚大な被害が生じた。このため，被災前の生活を取り戻すとともに，災害に強く，魅力的な都市として復活ができるよう，昨年呉市復興計画を策定し，今後のまちづくりの方向性を見据えた復興の取り組みを最優先に進めているが，復旧・復興に多額の経費がかかるといった特殊事情がある。

また，地域活性化対策や安全安心なまちづくり，子育てしやすい環境づくり，中小企業振興対策，障害者福祉対策，高齢者対策，公営事業会計等への繰出し，行財政改革，農林水産業振興対策に要する経費など，健全な自治体運営を行う上で必要不可欠である特別交付税の配分については，25億円を確保していただくよう，地元選出国會議員をはじめ，財務省，総務省等関係機関に対し強く要望した。